



学校は、今…

SCHOOL REPORT 20

食育と健康教育
の取り組み



各学校では、お米や野菜の栽培、調理を通しての食育、授業や放課、行事などを利用した体力づくりを行っています。今回は、赤羽根小学校と福江小学校の取り組みについてご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局 3679

家庭・地域と連携した食育(赤羽根小学校)

学校給食文部科学大臣表彰受賞

赤羽根小学校では、文部科学省と愛知県から委嘱を受け、家庭や地域と連携しながら、子どもたちの食生活を改善する活動に取り組んでいます。

子どもたちが栽培した野菜は、夏野菜だけでも28品目ありました。収穫した野菜は、調理実習や親子料理教室で使うだけでなく、給食で使ったり、家庭でも調理してもらったりしました。食育に協力していただいている「にんじんの会」の方に、低学年は野菜作りを、4年生は手打ちうどん作りを教えていただきました。5年生は農家の方の指導で、学校の温室でメロンとイチゴを栽培しました。6年生は、保護者の方にアジの開き方やフィリピン料理の作り方を教えていただきました。

自分で育てて食べる体験は、野菜への愛着や感謝にもつながり、野菜嫌いも自然に克服され、給食をほとんど残さなくなりました。



●親子鬼まんじゅう作り



●育てたジャガイモは給食のカレーに



●自己記録の更新を目指して



●みんなで短縄跳びの練習

自ら進んで体力づくり(福江小学校)

愛知県健康推進学校特別優秀校表彰受賞



福江小学校では、放課になると子どもたちが、寒い時期でも運動場に飛び出して元気よく遊んでいます。

昨年の11月下旬から12月下旬までは、マラソンに取り組みました。毎日、マラソンカードに何周走ったかを記録しました。中には毎日20周近く走る子もいました。子どもたちは、持久走大会に向けて自己記録の更新を目標にがんばっていました。

1月の運動場では、短縄跳びチャンピオンを目指して、放課に練習したり、先生に教えてもらったりする子どもたちの姿が見られました。短縄大会では、短縄跳びの級が上がり、飛び上がって喜ぶ子どもたちがたくさんいました。2月には、学級ごとに長縄跳びにチャレンジしました。長縄大会に向けて、どの学級でも声を掛け合ったり、何度もみんなで挑戦したりして、まとまっていく子どもたちの成長を見ることができました。